

一般質問の内容

市政は「市民がいてこそ」私たち
はそれを決つておぼろげにしない!

石渡 登志男 議員

議員就任以来、約二年が経過した。これからは市民の皆様方の為に今更以上で頑張りたい。その為には市民の声をしっかりと聞くという事、そこから市政は全てがスタートする。すなわち「市民の市民による市民の為の市政！」これに尽きるのではないかと。私はそう思っている。

問 津波の避難訓練、参加者が昨年と比較し、実質かなり激減している。だから私は9月の議会において住民の意識の底上げが必要だとお伝えした。私は白子町の避難訓練に参加してきたが、避難場所が15カ所もある受付も長蛇の列。本市のように避難場所が限られる避難訓練は具体的に且つ実務的であるべきだ。

答 次年度に向け市民への防災意識の啓発と防災訓練の見直しを検討する。

問 高台に津波監視カメラの設置を検討していただきたい。大洗町では役場から海を見ながらたえず防災無線でお知らせし、全住民の命を守った。市として有効なる独自の情報網を持つべきだ。

答 監視カメラの設置は有効なものとして認識している。設置場所・設置方法について検討していきたい。

問 駅前広場歩道の屋根の設置を行うべきだ。全てとは言わない。少しでも市民の利便性を考えていく、それが本場の意味での市政ではないか。

答 利用者の利便性を考慮し、今後の検討課題として考えていきたい。

問 本市高齢者の健康と長寿の為に活動量計の無料貸し出しをぜひ検討すべき。活動量計は高齢者の健康と長寿に結びついている事が証明されている。「笑顔いっぱい元気な高齢者は、本市の自慢です！」と、そ

う言えるようなそんな大網白里市に私はしたい。高齢者の皆様は今の日本を築いてくださった方々なのだ。

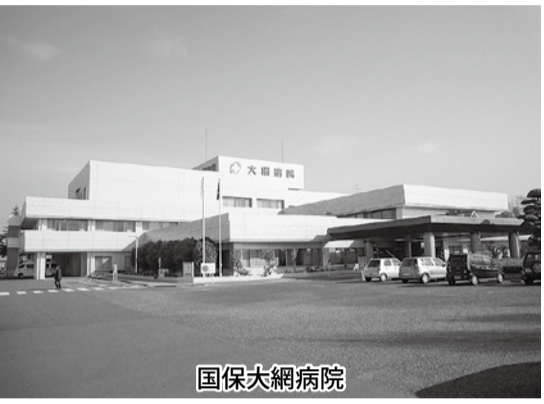
答 活動量計を利用することにより、効果は期待できると考えている。この活動量計の利用を高齢者の健康増進等の取り組みとして研究課題とさせていきたい。

問 人間、健康が一番大事なこと。よって大網病院でワンコイン検診を考えてみたらどうか。地域医療を育てていく事が大事。ワンコイン検診は保険証も不要、予約もなし、500円程度で可能、身構える事もない。血糖値が気になる方500円、痛風300円、ガンが気になる方千500円。医師の負担をあまりかけずに、市民や病院経営にもプラスになる。

答 病院にとりましても収益を上げることができ、将来的に受診者増にもつながる事にも期待が出来る為、今後導入に向けて調査研究していきたい。

問 キリン幼児教室の早急なる移転を考慮すべき。津波が来たら、あの小さな子供たちは犠牲になる。もっと真剣に市は考えるべきだ。

答 認定こども園を含む児童関連施設としての計画をしているが、キリン教室の移転も整備を進めるよう検討する。



国保大網病院

台風26号の被害に対する今後の対策についてのご要望を伺った

前之園 孝光 議員

問 台風26号の浸水被害を少なくするためには、平成24年2月議会でも要望していた金谷川の改修を急ぐように要望する。

答 平成25年12月から準用河川金谷川改修事業につきましましては、現況の河川断面を約4倍に拡大し、浸水被害の軽減を図ります。

問 小中川の大網駅から上流については、土砂の堆積が見受けられるので掘削をし、排水対策をすべきだ。

答 河川管理者であります千葉県へ流下機能の適正な確保につきましまして要望して参ります。

問 永田駅周辺の排水対策をすべきだ。

答 河川管理者である千葉県及び茨原市へ連絡をし、現状の把握と対応をお願い致しました。

問 市長の市政方針、特に「平成26年度予算編成」について

市長 平成26年度予算編成に当たっては、①「安心・安全の実感できるまちづくりの推進」として、小・中学校施設の耐震化整備、津波避難タワーや道路整備などの計画、②「子育て支援」として、子ども医療費助成事業の継続と各種保育施設事業の充実、③「高齢者支援」、④「健康づくりと安心できる医療体制の推進」、⑤「大網駅周辺土地区画整理事業の推進」、大網駅前公衆トイレの改修等、⑥「産業の活性化」、⑦「生活基盤・環境整備の推進」として、準用河川金谷川改修事業、圏央道スマートインターチェンジの設置関係費等を重点施策に掲げ、予算編成を行ってまいります。

問 政府の経済対策の財源5.5兆円は、2013年度補正予算に盛り込まれる予定だ。この中に学校の耐



金谷川改修工事 (第二分庁舎前)

震化事業等も予算化されたら、ぜひ活用できるように要望する。

問 学校におけるICT環境の整備の充実で学習意欲の向上を

答 今までのパソコンの機能に加え、タブレット機能もあわせもった機種の導入を検討しているところがございます。あわせて学校からの要望も多い教材提示用液晶テレビにつきましても台数を増やし、より使いやすい環境づくりを進めていく予定でございます。

問 協働のまちづくり(住民協働事業)の拡充について要望

副市長 事業採択枠でございますが、採択数の枠は限定しておりませんが、内容によって審査会で採択される団体が増えることもあり得ます。要綱によりまして3回を限度としております。それから、額でございますが、これも要綱の中で30万円が限度額でございます。最終的には団体の自主財源による自立した活動を願っておりますので、この補助金は、その一助と考えているというところでございます。

福祉・防災に強いまち
づくりを目指して

上家 初枝 議員

1. 地域医療について

問 東千葉メディカルセンターと大網病院の連携について伺います。

答 去る11月20日、山武・長生・夷隅医療圏における地域医療連携会議が開催されました。連携については特に触れておりません。

問 4月開設となれば病院間の連携体制を明確にすべきと思いますが?

答 近隣医療機関へ近々相談、住民に内容を説明していくとのことですが、現実的にはまだ話し合いはありません。

問 東千葉の救急部門について財政支援が求められ、既に夷隅郡・長生郡が反対、回答拒否と千葉日報で掲載され、山武市でも県が支援システムをとるべきと負担金を支払わない考えです。本市も原則として設置者が負担すべきとの考えを示しました。4月オープンを控え、当初から建設・運営を懸念していた他市町に慌てて財政支援を求めると事体おかしな問題で、県の責任が問われます。県に運営参加を求めるべきではないでしょうか。

市長 東千葉メディカルセンターは山武・長生・夷隅の救命・救急を担うことから、今後医療圏の枠組みで協議していかねばと考えております。

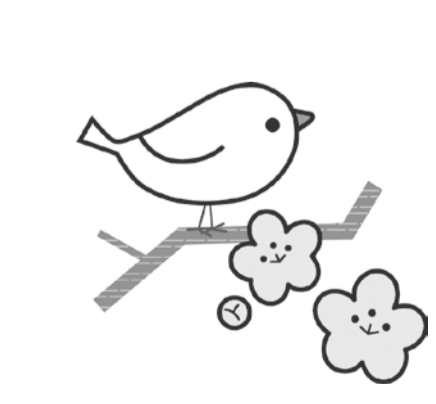
2. 大雨時の冠水対策について

問 今年度の台風・大雨による冠水被害の状況と対策について伺います。

答 今年度は台風26号による被害のみで、住家の床上浸水5棟、床下は25棟、他に駅周辺、海岸沿いの県道・市道、わらび台など市内各所で冠水し通行不能となりました。まれにみる大雨で、新たに浸水した地域の要因等調査、具体的な対策を考えております。今後は浸水地域の重点

的なパトロール、早めに住民への注意、避難を呼びかけます。

答 弥野地区のミニニティプラント処理場において、汚水以外に雨水が流入しました。処理施設の利用者未接続敷地の公共マスなど700件を調査し、公共マスの蓋の破損、蓋が開いていたり、雨水を直接接続している人など、28件の要因を確認しました。今後は定期的な巡回、利用者には適切な利用を周知していきます。



3. 子育て支援について

問 専婦控除について、非婚の母に「みなし適用」を提案します。

答 「みなし適用」による自己負担軽減が想定されるのは保育料・学童保育料です。婚外子に関する諸制度の見直しは各方面からあがっており、法令改正の動向を注視しているところであります。

問 自治体の長の判断で可能では?

市長 未婚・既婚で取り扱いが異なるのは矛盾であり、担当課にてしっかり研究をさせていただきます。

問 旧大網小の跡地利用を伺います。

答 児童関連施設の整備計画を考えており、内容は認定こども園・子育て支援センター・キリン教室・子ども図書館の機能を備えた児童館的な施設等です。

一般質問(要約) 注 内容は各議員からの原稿をそのまま掲載しています。掲載の順番は、一般質問の登壇順となっております。